

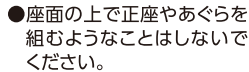
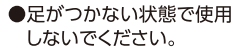
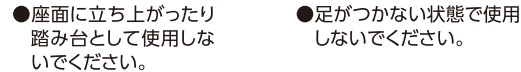
⚠ 注意

- 組立てる前に、必ずこの取扱説明書をよく読み「組立て方」に従って正しく組立ててください。
- 組立てる前に、部品が揃っているか確認してください。
- 組立てる時に、部品などを幼児や子供の手の届く場所に放置しないでください。
- 組立てる時に、部品の端部などで指を怪我をしたり、指をささないように充分注意してください。
- 部品に破損や不具合などがある場合は、そのまま使用せず、弊社お客様相談室まで連絡してください。
- 組立ては、水平で平らな場所で行なってください。また、床面がキズつかないようダンボールなどを敷いて行なってください。
- 電動ドライバーなど電動工具の使用はお止めください。
- 設置する場所の近くで組立てることをおすすめします。
- 本製品は、2人以上で組立てることをおすすめします。

- 本製品は屋内専用です。屋外での使用はお止めください。また本来の用途以外での使用はお止めください。
- 各部がしっかり組立てられていることを確認した上で使用してください。組立てが不十分なまま使用すると非常に危険です。
- 水平でない場所・段差のある場所・不安定な場所での使用はお止めください。
- ストーブなど熱機器や火気のそばでの使用はお止めください。生地などに引火して火災の原因になります。
- こたつ内での使用はお止めください。火傷や火災の原因になります。
- 高温多湿な場所での使用はお止めください。
- 直射日光など紫外線が当たる場所での使用はお止めください。
- フローリングなどキズが付きやすい床面を使用する場合、敷物などを敷いて床面を保護してください。
- Pタイルなど硬質で滑りやすい床面では、滑らないように軟らかい敷物などを敷いてから使用してください。
- じゅうたんの上や畳などやわらかい床では荷重でしずんだり、設置する場所によってはへこみや跡がつくことがあります。そのような場合は、敷物や当て板を敷いて使用してください。
- クッションフロア材（塩化ビニル樹脂）の上で使用する場合、環境（長時間同じ場所での固定・紫外線のあたる場所・温度の高い場所）などによっては、色移り（移行）現象によりクッションフロア材の表面が変色する場合があります。
- 乳幼児のベッド代わりでの使用はお止めください。
- 本製品で仮眠をとったり睡眠をとるようなことはお止めください。
- 座面の上に立上ったり、踏み台としての使用はお止めください。特に幼児や子供には注意してください。
- 背もたれに、勢いよくもたれかからないでください。転倒する原因になります。
- 可動部の隙間に指を入れないでください。挟まれてけがの原因になります。
- 座面以外の所や座面前縁などには座らないでください。転倒する原因になります。
- 素肌や衣類などが濡れた状態での使用はお止めください。シミ・汚れ・劣化の原因になります。
- 持上げて移動する時は、構造上脚の部分落下する恐れがあるので必ず脚から持上げてください。また一人で無理な場合は二人で持上げてください。
- 本製品に使用している張り材は、温度・湿度・紫外線・汗などの環境の変化により長期間の使用において劣化・摩耗することがあります。ご了承ください。
- 本製品の特性上、使い始めににおいがする場合があります。時間の経過とともに軽減しますが、気になる場合は部屋の換気をしたり、風通しの良いところに置いてください。
- 使用中に、破壊・変形・異音が生じた場合はただちに使用をお止めください。

- 定期的に各部がゆるんでいないか点検してください。
- 汚れた場合は、乾いたやわらかい布で拭いてください。また、汚れがひどい時は、やわらかい布に薄めた中性洗剤をしみ込ませ、それを固くしぼったもので汚れを落としてください。その後、もう一度乾いたやわらかい布で拭いて水分を取り除いてください。
- ベンジン・シンナー・アルコール・磨き粉などの使用はお止めください。表面のはがれや変色の原因になります。また、化学雑巾やクリーナーなど化学薬品を含むものを使用する時は、その注意書きに従ってください。

本製品は、ねじを用いて連結している商品です。使用を続けてゆく中でゆるみが発生する場合があります。ゆるみが発生している状態で使用していると、連結部がおれたりはずれたりする原因になります。安全に使用していただくために、定期的な締め直しをお願いします。



ワークチェア リログ	取扱説明書
-------------------	--------------

この度は、弊社製品をお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。正しくご使用いただくために必ずこの取扱説明書をお読みください。尚、お読みになられた後もいつでも見られるように大切に保存してください。

品 番	組立てサイズ(cm)			座面のサイズ(cm)			耐荷重(kg)※
	幅	奥 行	高 さ	幅	奥 行	座面高	
WCL	(約)48.5	(約)50.5	(約)75～87	(約)43	(約)38.5	(約)41～53	90

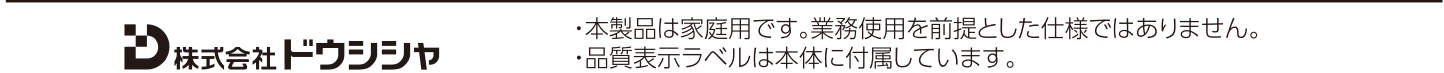
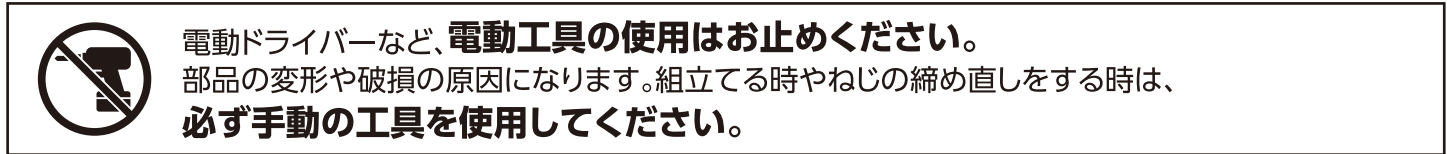
※本製品の耐荷重は測定値であり保証する値ではありません。

內容明細	
------	--

梱包内容を下記の明細に照らし合わせて、組立てる前にご確認ください。

部品名	座	背	シリンダー	脚
部品図				
個 数	1	1	1	1

部品名	キャスター	ねじ	ワッシャー	六角レンチ
部品図				 点検のために使用します。 大切に保管してください。
個 数	5	2(+予備1)	2(+予備1)	1



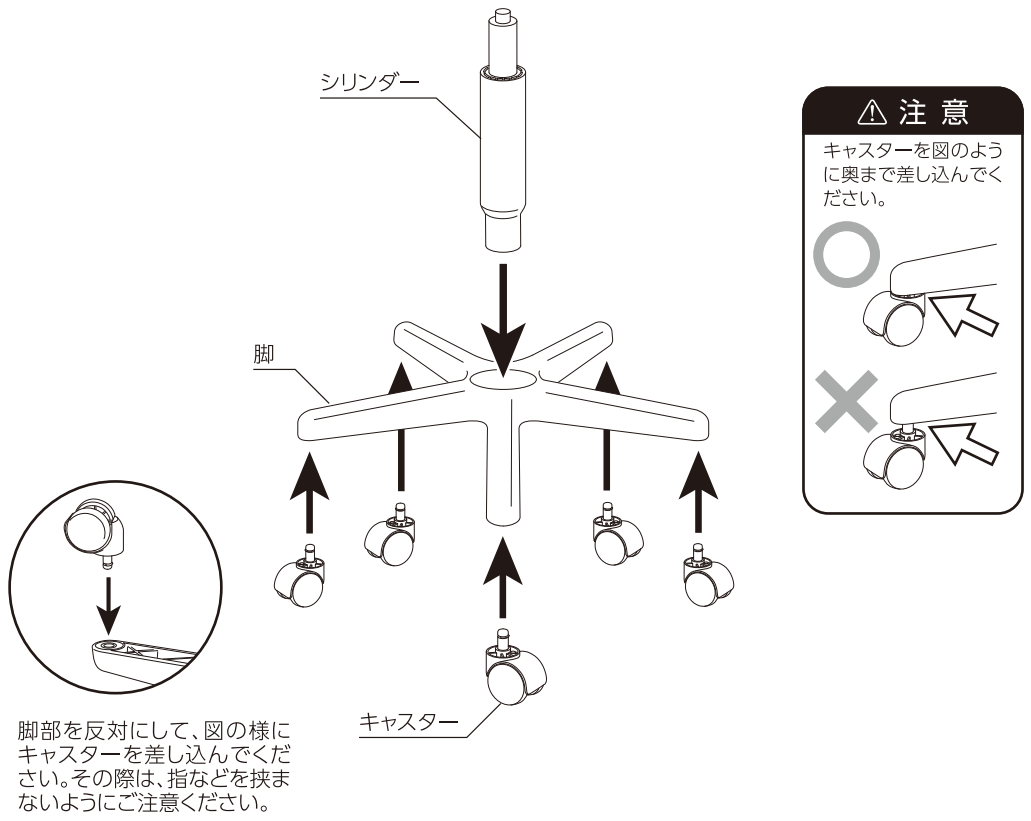
- ・本製品は家庭用です。業務使用を前提とした仕様ではありません。
- ・品質表示ラベルは本体に付属しています。

- ◎品質には万全を期しておりますが、万一不具合や、お気付きの点がございましたら、ご使用にならずに弊社お客様相談室へご連絡ください。
- ◎本製品及び梱包材を廃棄する時は、お住まいの自治体の取決めた処理方法に従ってください。
- ◎天災などの不可抗力やお客様ご自身での修理・改造による故障・破損に対する補償等は致しかねます。

--

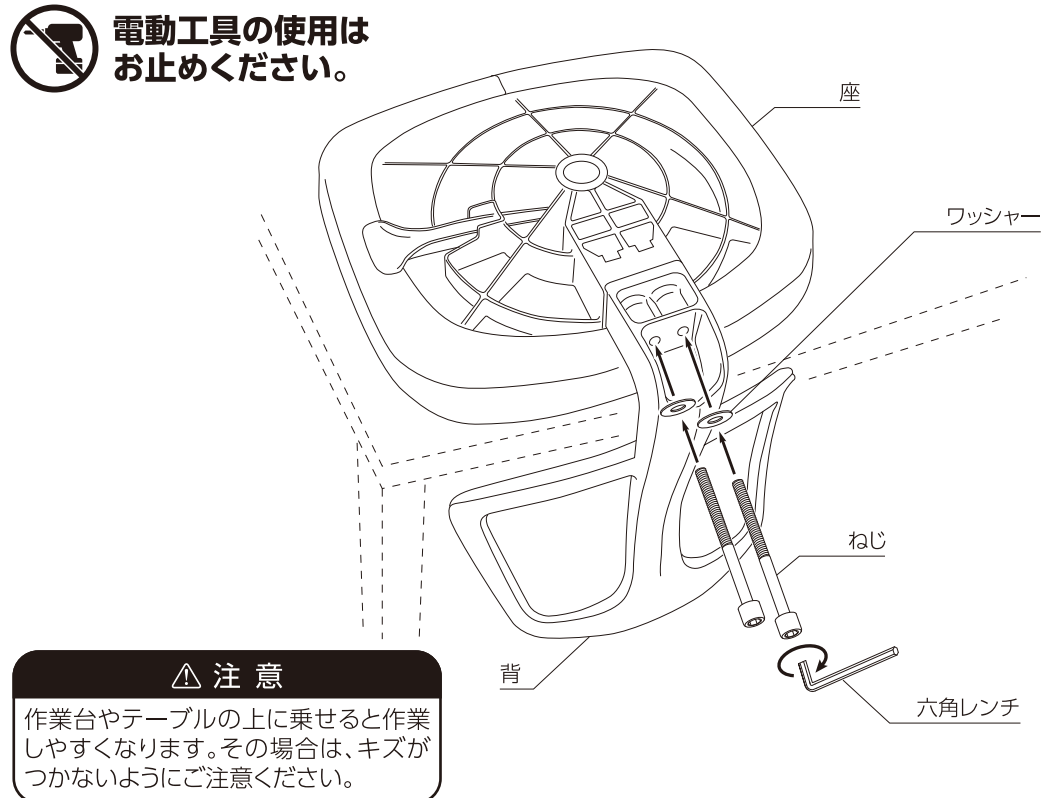
1 脚部の組立て

図のように脚部を組立てます。



2 座部本体の組立て

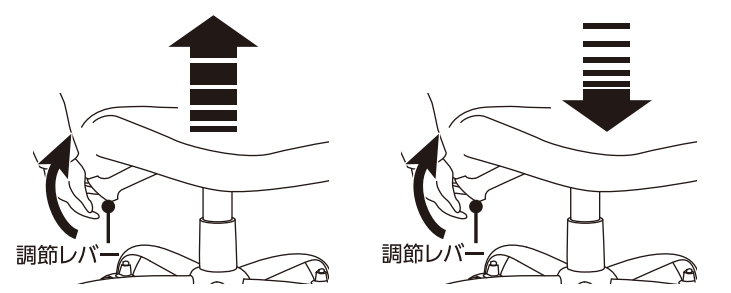
座の裏側に背をワッシャーとねじで仮留めしてから最後に仮留めした全てのねじをしっかりと締めます。



座面の高さの調節

座面を上げる時 座面を下げる時

少し腰を浮かせて、調節レバーを上を引き上げます。 座った状態で、調節レバーを上を引き上げます。

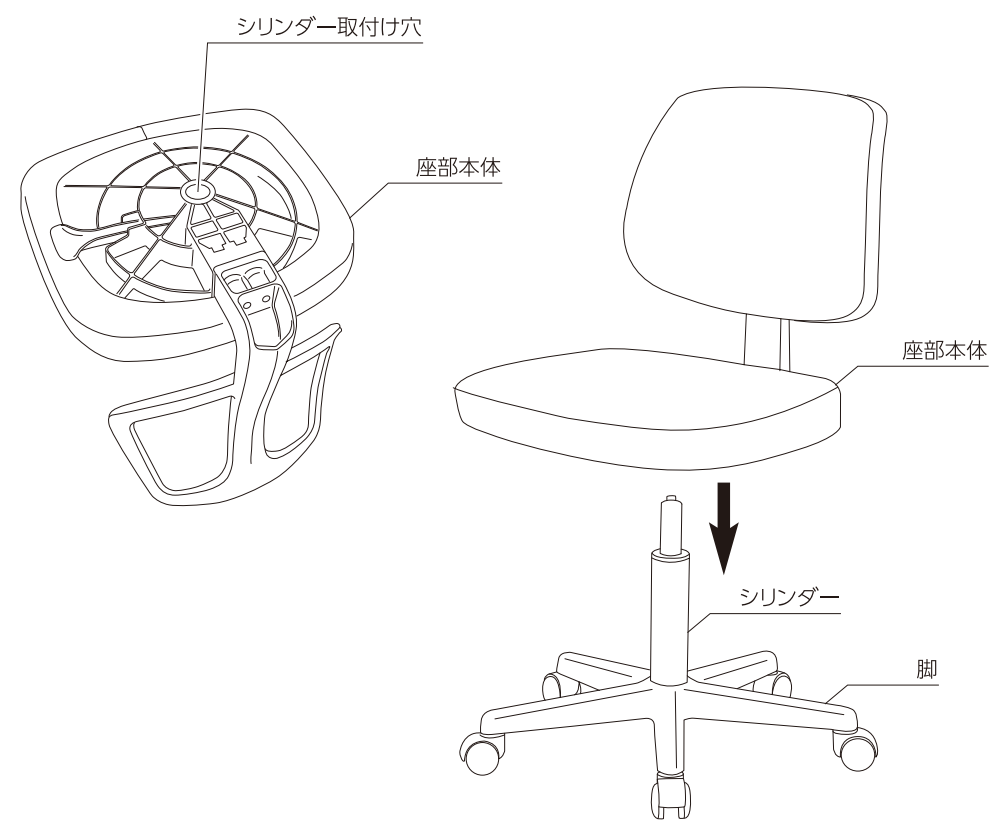


座面を上げる時も、下げる時も、**調節レバーは常に上**に引き上げます。

- 座面の前方に座った場合には、座面が下がらないことがあります。必ず、座面の中央部に腰を下ろしてから調節レバーを操作してください。
- 最下点以外では、静座時にシート部が多少沈み、弾力のある動きをします。これは故障ではありません。

3 座部本体と脚部の取付け

1 組立てた脚部に、座部本体を取付けます。座の裏側にあるシリンダー取付け穴にまっすぐシリンダーが入るように差し込んでください。



4 完成

全ての組立てが終わりましたら、組立てた部分に緩みがないか確認します。緩みがあればしっかりと締めます。その後、座ってゆっくり体重をかけてください。チェア全体が固定されます。

△ 注意
座部本体と脚部が外れる可能性があります。必ず体重をかけてチェア全体を固定してください。

△ 注意
座面クッション部は外さずご使用ください。また、座面クッション部は洗濯できません。

